

地区懇談会におけるご意見・ご提案等(7/9防災センター)

発言要旨	当日の回答要旨	回答者	補足
<p>■生ゴミの処理方法について 「ゴミプランの会」という市民団体が今年の3月に「生ゴミは焼却処理をしないで別の方法でやっていける」というお披露目会を行った。その内容の一つは、生ゴミだけを集めて発酵させ、メタンガスを発生させバイオマス発電して売電する。生ゴミは消えてなくなり資源となり、嫌な煙も出ない焼却灰もたまらない。生ゴミだけが分別されず焼却処理されているが、もし生ゴミまで分別回収されるようになったら素晴らしいことだと思う。愛知県豊橋市ですでに稼働している。</p> <p>2つ目は、現に清水小学校の給食で出る生ゴミを処理している施設と同じ方式で、生ゴミを発酵槽に入れて好気性菌による発酵を行うと、生ゴミは二酸化炭素と水になって完全になくなってしまおうである。西小学校でも入れるそうだが、愛知県豊川市で稼働している。</p> <p>現在沼津市のゴミ焼却場は老朽化により建て替えの時期にきていると聞いている。もし私の話した方式にメリットがあるならとても良いことと思う。</p>	<p>確かに生ゴミを焼却処分しているが、ゴミは生ゴミだけではないため、生ゴミだけその方法を取った場合、残りのゴミをどうするか等の問題があると思う。基本的にはゴミ処理はライフラインのひとつであるため、1日たりとも処理ができなくなるということは、町民に迷惑をかけることになるので、そのようなことがないようにしていきたい。</p> <p>これまでも沼津市に処理を委託して今の施設を使わせていただいている。今後も沼津市と共にゴミ処理をやっていきたいと思っておりますので、このような意見があるということは沼津市にも伝えておく。</p>	町長	
<p>■6月25日の外原地区での悪臭について 6月25日、外原区全体に悪臭が漂った。この臭いは1日だけではなく、3日くらいあった。この悪臭について私を含め外原区民、誰もが焼却場からの臭いだと思ってしまう。焼却場の疑いを晴らすためにも、原因を突き止めてほしいと思う。</p>	<p>くらし安全課から報告があったので、できるだけ原因を突き止めるように指示をした。また悪臭の種類が分析できるのならば専門家にも相談するように言っている。悪臭イコール焼却場の臭いではないと言われているが、外原地区では臭いはすぐに焼却場ではないかと思ってしまうことは言われたとおりである。原因等をやはり確認しなければいけない。</p>	町長	8月9日現在、悪臭の原因は解明できておりません。
<p>■プラスチックの焼却について プラスチックの焼却について、公害防止協定には6条の2に有害となるものは分別収集を徹底させることになっている。プラスチックは他のものと混じり合って焼却されると人体に有害な物質が多数発生し、ダイオキシン、強い発ガン性をもつ芳香族炭化水素、大気毒性の強い環境ホルモンなどの毒性の多くが生成され、SPM、浮遊粒子状の物質、PM10からPM7となり煙突から抽出される。水分を多く含んだ生ゴミ、雑草、剪定枝を大量に焼却炉に投入すると燃えないため、プラスチックを補助燃料として投入する。投入されるプラスチックの量が多くなればなるほど有害物質の排出量も増える。ただちに影響ないといわれるが、後々には影響があるとも解釈できる。住民の命と暮らしを守るためにも、この協定書の履行を求める。</p>	<p>公害防止協定は今ある施設についての協定を結んでいると自分は解釈している。今の施設がどれだけの性能かというのがあるが、新しい施設はダイオキシン等については処理ができる施設を作ると聞いているので、沼津市と確認しながら話し合いをしていきたい。</p> <p>今の施設が古いということで耐震性もあるが、新しい施設に変えていきたいとのことで今の計画が進められていると解釈している。</p>	町長	
<p>■プラスチックの焼却について 新しい施設に対して言ったのではない。今の施設に対して言っている。</p>	<p>今の施設が古いということで耐震性もあるが、新しい施設に変えていきたいとのことで今の計画が進められていると解釈している。</p>	町長	
<p>■6/25の悪臭について 悪臭の話について、外原区の特異性を認識してもらいたい。 焼却場が近くにあるが、南中学校は、道路を挟んですぐ近くである。臭いという話があり、区の役員が歩きまわってみたら臭いの原因となる場所が分からない。中学生が家に帰ってきて「臭かったよ」と言っていたというので、次の日、中学校でどんな状況であったか聞きに行ってみた。外原区からの連絡で、役場の職員もすぐに来てくれた。校長先生、教頭先生は状況を把握されてなく、他の職員、生徒たちに聞いても臭かったという人もいないし、全然そんな気にもならなかった人もいた。職員、先生方には、焼却場が近くで普通でない状態が起こったときに、まだ臭っていないのか、ちょっと変じゃないかっていうことに対する、あの場所における特有の感覚を持っていたいただければと思う。少し特異性を考えて学校の方へ指導をしていただきたい。</p>	<p>今の話は学校から教育委員会に報告があり、くらし安全課に報告し、その対応については、先ほど町長が答弁したとおりである。確かに区長の指摘のとおり、臭いの中にいる当事者としてその場で臨機応変にどう対応するかということについては、意識を持って行動してほしいと教育委員会から話をした。今週から来週にかけて教頭会があるので、再度状況の変化について敏感になってほしい、当事者として、どう行動したらいいか、子どもたちにどう指示したらいいかを確認するように今度の教頭会で指導する予定である。</p>	教育長	

<p>■狩野川の情報共有について 徳倉4区は後ろが山、前が狩野川である。災害が起きると狩野川は国が管理しているため、その際に、狩野川区域の修善寺から沼津市までの狩野川サミットのようなものをつくって、狩野川の情報共有していただきたい。そのような話が他の市町からないのか。もしなければ清水町から提案して、情報を共有したらどうか。</p>	<p>狩野川サミットという形ではないが、狩野川改修期成同盟会という流域市町の首長が集まる会がある。改修の要望であるとか情報共有についての話し合いができる場だと考えているので、そのような話を共有するという提案をさせてもらう。</p>	<p>町長</p>	
<p>■海洋ゴミについて プラスチックの海洋ゴミについて皆さんにお知らせしたい。カップラーメンの容器、プラスチックの容器等から環境ホルモン作用があるとされるビスフェノールAやフタル酸エステルなどの原材料や添加剤が溶け出ている。電子レンジを使用する際にラップをかけるが、ラップからも有害物質が溶け出るという話を聞いてきた。そしてこういうものが海に出て、紫外線や波の影響を受けてマイクロプラスチックとなり、魚が食べてやがては魚から人の口へと入る。このまま汚染が続くと2050年にはプラスチックのほうが魚より多くなってしまふと言われているが、あと10年もしたら魚は食べられないのではないかと私は思う。プラスチックの扱いには十分注意したほうがいいと思う。</p>	<p>(情報提供のみ)</p>	<p>町長</p>	
<p>■「創ろう未来、新しい清水町」への町長の思いについて 「創ろう未来、新しい清水町」のとおり政治というのは未来に向かった夢と希望を語り、それに対して実行力、説得力のある施策を進めていくことが一番だと思う。まちづくりについて細かいことまで説明していただいたが、「創ろう未来、新しい清水町」に向かってこんな町をつくっていききたいという町長の思いを生言葉で聞かせてもらいたい。</p>	<p>私は施策を行うにあたり、町民の自発的な協働という町をつくっていききたい。たくさんの方がいろいろな力を持っていると思うが、今までの状況を見ていると、すべて町がやればいけないかという要望が多いと感じている。町民ができないことは行政がやるのが一番であるが、町民の自発的な活動やボランティアがあり、その上に行政が応援していくという町をつくっていききたい。町民全員で新しい町をつくっていきこう、皆様と一緒にやっていきこうというのが私の基本的な考えである。</p>	<p>町長</p>	
<p>■ゴミ処理料の削減について 町長が進めていききたいことはよく分かるが、何をやるにしても財源が必要である。先ほど説明したプランがこれから出てくると思う。例えば、1億8千万円のゴミ処理の委託料が半分に削減でき、同時に収集車が走らなくなればもっと削減できる。この削減で浮いた財源で何かできるかと提案したら、話を聞いてもらえるか。</p>	<p>提案は検討させてもらう。</p>	<p>町長</p>	